



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東 大

上場会社名 内海造船株式会社

コード番号 7018 URL <http://www.naikaizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森 弘行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 原 耕作

TEL 0845-27-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	37,053	15.7	4,810	34.8	4,707	35.1	1,681	6.3
23年3月期第3四半期	32,026	△23.5	3,569	55.0	3,484	56.6	1,581	35.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,791百万円 (15.4%) 23年3月期第3四半期 1,552百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	99.15	—
23年3月期第3四半期	93.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	39,571	9,302	23.5	548.52
23年3月期	36,184	7,766	21.5	457.91

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 9,302百万円 23年3月期 7,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、定款において期末日を基準日として定めておりますので、四半期における配当は実施しておりません。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,600	6.2	4,900	0.4	4,800	1.0	2,100	3.2	123.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	22,530,000 株	23年3月期	22,530,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	5,570,445 株	23年3月期	5,569,816 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	16,960,111 株	23年3月期3Q	16,960,960 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表(四半期報告書)に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる事項については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災の影響で落ち込んでいた生産、消費は徐々に回復の兆しが出ていますが、長期化する円高等により先行きは不透明であり、また、欧州諸国の金融不安や欧米経済の減速等で予断を許さない状況で推移しました。

造船業界におきましては、世界経済の減速等により新造船需要が伸び悩んでいる中、設備・技術とも充実している韓国はウォン安を追い風に受注を伸ばしており、円高基調で推移する為替相場に苦慮する国内造船所にとっては厳しい受注環境に晒されました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高370億53百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

損益は、新造船工事の収益改善により、営業利益48億10百万円（前年同四半期比34.8%増）、経常利益47億7百万円（前年同四半期比35.1%増）となりましたが、修繕船事業の集約に伴う費用（9億78百万円）等を特別損失に計上したことで、四半期純利益は16億81百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①船舶事業

新造船工事については、船舶供給過剰による船価の低迷、円高基調で推移する為替相場等により厳しい受注環境におかれ予断を許さない状況が続きました。

改修船工事につきましても、海運市況の低迷、中国や国内造船所との価格競争激化により受注・採算面共に厳しい状況が続く中、顧客ニーズ（品質・納期）への的確な対応とコスト削減を行いました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高366億95百万円、セグメント利益60億32百万円となりました。

また受注残高については、貨物船、内航船等受注したことにより338億22百万円となりました。

## ②その他

## (陸上事業)

設備投資は、復興需要により一部回復しているものの、世界経済の減速等により見直しの動きが見られ、引き続き予断を許さない状況が続きました。このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1億80百万円、セグメント損失2百万円となりました。

また、受注残高は42百万円となりました。

## (サービス事業)

個人消費は、東日本大震災以降の落ち込みから回復しているものの、世界経済の減速懸念による景気への不透明感や低調に推移する雇用情勢等により、依然として厳しい状況が続きました。このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1億77百万円、セグメント損失16百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
総資産	36,184	39,571	3,387
負債	28,417	30,268	1,850
純資産	7,766	9,302	1,536

総資産は、前連結会計年度末に比べ33億87百万円増加いたしました。

これは主に、受取手形及び売掛金が28億41百万円、投資有価証券が8億49百万円増加したことであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ18億50百万円増加いたしました。

これは主に、新造船工事の前受金が22億73百万円減少したものの、工事損失引当金が25億88百万円、借入金  
が10億74百万円増加したことあります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億36百万円増加いたしました。

これは主に、利益剰余金が16億28百万円増加したことあります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は、平成23年5月11日の公表数値どおり推移しており変更はありませんが、新造船需要の伸び悩みによる船価の低迷や為替相場が円高基調であることから、新造船の受注により工事損失引当金を計上する可能性が高い状況であります。今後の業績に変動を与える事象が生じた場合は、速やかに開示していく所存であります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

当社グループにおける、原材料及び貯蔵品の評価方法は、従来、個別法及び総平均法によっておりましたが、新しい基幹システムを導入したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、総平均法から移動平均法に変更しました。

当会計方針の変更に伴い遡及適用した場合に、過年度の財務諸表に与える影響が軽微と考えられるため、遡及適用を行わず、期首から移動平均法を適用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,829	4,982
受取手形及び売掛金	14,235	17,077
商品	0	2
仕掛品	331	466
原材料及び貯蔵品	114	119
その他	2,156	3,290
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	21,662	25,933
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,073	2,808
構築物（純額）	1,621	1,305
機械装置及び運搬具（純額）	2,329	1,829
土地	4,709	4,400
その他（純額）	754	727
有形固定資産合計	12,488	11,070
無形固定資産		
その他	212	201
無形固定資産合計	212	201
投資その他の資産		
投資有価証券	819	1,668
その他	1,066	761
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	1,821	2,365
固定資産合計	14,522	13,638
資産合計	36,184	39,571

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,551	9,165
短期借入金	2,972	3,420
未払費用	1,323	1,589
未払法人税等	880	1,772
前受金	4,161	1,888
工事損失引当金	—	2,588
その他の引当金	70	112
その他	1,040	1,509
流動負債合計	19,999	22,046
固定負債		
長期借入金	5,384	6,010
再評価に係る繰延税金負債	1,179	930
退職給付引当金	1,741	1,169
資産除去債務	61	62
その他の引当金	43	44
その他	8	4
固定負債合計	8,418	8,222
負債合計	28,417	30,268
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	6,368	7,997
自己株式	△2,015	△2,015
株主資本合計	6,225	7,853
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	△2
土地再評価差額金	1,536	1,451
その他の包括利益累計額合計	1,540	1,448
純資産合計	7,766	9,302
負債純資産合計	36,184	39,571

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	32,026	37,053
売上原価	26,551	30,559
売上総利益	5,474	6,493
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	455	428
その他	1,449	1,255
販売費及び一般管理費合計	1,905	1,683
営業利益	3,569	4,810
営業外収益		
受取配当金	7	9
その他	11	6
営業外収益合計	19	16
営業外費用		
支払利息	80	87
寄付金	23	5
その他	0	26
営業外費用合計	104	118
経常利益	3,484	4,707
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	18	—
固定資産除却損	763	494
減損損失	—	506
その他	—	462
特別損失合計	781	1,462
税金等調整前四半期純利益	2,702	3,244
法人税、住民税及び事業税	1,209	2,533
法人税等調整額	△88	△970
法人税等合計	1,121	1,563
少数株主損益調整前四半期純利益	1,581	1,681
四半期純利益	1,581	1,681



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,581	1,681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	△6
土地再評価差額金	—	115
その他の包括利益合計	△29	109
四半期包括利益	1,552	1,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,552	1,791

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。